

不定詞のポイント

1. 不定詞とは？

(1) 不定詞の形

不定詞といえば to + 動詞の原形 ※動詞が名詞や形容詞や副詞になる

(2) 不定詞の3つの働き

to 不定詞の3用法

①名詞的用法

「～すること」 ※「主語」や「動詞の直後」にくる

②形容詞的用法

「～するための / ～すべき」など ※「名詞」を後ろから修飾する

③副詞的用法

目的「～するために」 / ※「名詞以外」を修飾する
感情の原因「～して××だ」 文末におく

2. 名詞的用法

名詞的用法は、文中で主語(S), 補語(C), 動詞の目的語(O) の働きをする。

「**～すること**」と訳す ※「主語」や「動詞の直後」にくる

- ① 主語(S) 「誰が、何が」に当たる部分

To study math is important.

(数学を勉強することは大切です)

- ② 補語(C) 「イコールの相手」に当たる部分

His hobby is to walk in the park.

(彼の趣味は公園を散歩することです)

- ③ 目的語(O) 「何を」に当たる部分

She decided to go to China.

(彼女は中国に行くことを決心した。)

3. 形容詞的用法

(1) 日本語との比較

① 1語だったら前から修飾

(a) 一輪の綺麗な花

(b) a beautiful flower

② 2語以上だったら後ろから修飾

(a) 形容詞 a book about France 1冊のフランスに関する本

(b) 不定詞 time to study 勉強する時間

(2) 訳し方

① 訳し方

「～するための」「～すべき」などなど

② 訳のポイント

直前の「名詞を修飾」していることを意識する！

※日本語訳に縛られる必要はない。

time to study English

「英語を勉強する時間」

a place to visit

「訪れるべき場所」

a lot of homework to do

「たくさんのやるべき宿題」

a friend to help me

「私を助けてくれる友人」

(3) —thing の修飾

① —thing の意味

something 「何か・もの」

anything 【肯定文】「何でも」 【疑問文】「何か」 【否定文】「何も」

everything 「すべてのもの」

nothing 「何も～ない」

② —thing to 不定詞

something to drink 「何か飲むもの」

something to eat 「何か食べるもの」

nothing to drink 「何か飲むものが何もない」

nothing to eat 「何か食べるものが何もない」

③ —thing to 不定詞 に「形容詞」を付け足す

something 形容詞 to do

something cold to drink 「何か冷たい飲みもの」

something hot to eat 「何か温かい食べもの」

nothing interesting to read 「何か面白い読み物が何もない」

4. 副詞的用法

(1) 目的

- ① 副詞 He studied English <hard>.

- ② 不定詞 He studied English <to be a pilot>.
I go to the sea <to swim>.
I went to the park <to see him>.

(2) 感情の原因

- ① 「<～して>××だ」 ※「感情表現 + to 不定詞」の形
I am glad <to see you again>. 「あなたにまた会えて嬉しい」
I was surprised <to hear the news>. 「その知らせを聞いて驚いた」

☆よく使われる「感情表現」

happy・glad (嬉しい) /sad (悲しい) /sorry (残念だ) /surprised (驚いた)

(3) 副詞的用法の応用

(1) Why への返答

- ① Because 主語+ 動詞.

- ② To ～ .

Why did you go there? 「なぜそこへ行ったの?」

<To see her>. 「彼女に会うためです」

動名詞のポイント

1. 動名詞

(1) 動名詞の基本

- ① 動名詞とは「動詞を名詞化」したもの。
- ② 動名詞の形

動名詞と言えば、～ing

③ 動名詞の意味 「～すること」

The book is not easy. 「その本は簡単ではない」

Swimming is not easy. 「泳ぐことは簡単ではない」

She likes the book. 「彼女はその本が好き」

She likes swimming. 「彼女は泳ぐことが好き」

(2) 進行形の～ing との区別

S is ～ing で、S = ～ing が成立すれば「動名詞」

動名詞と進行形の区別

【動名詞】 His hobby is playing the guitar. 「彼の趣味はギターを弾くことです」

【進行形】 He is playing the guitar. 「彼はギターを弾いているところです」

(4) 前置詞の後ろにくる動名詞

※前置詞のあとは**名詞**か**動名詞**

2. 不定詞 vs. 動名詞

(1) 動詞の後ろにくる形

① 不定詞・動名詞両方OK

like / begin / start など

◎) I like to swim in the sea.

◎) I like swimming in the sea.

「私は海で泳ぐのが好き」

② 不定詞のみOK

want / hope / wish など

◎) He wants to swim. 「彼は泳ぎたがっている」 ←彼は泳ぐことがほしい

×) He wants swimming.

◎) I hope to see you again.

「またお会いしたいと思っています」

×) I hope seeing you again.

↑再び会うことを望む

③ 動名詞のみOK

enjoy / finish / stop など

◎) He enjoys swimming.

「彼は水泳を楽しむ」

×) He enjoys to swim.

◎) He stopped swimming.

「彼は泳ぐのをやめた」

×) He stopped to swim.

◎) She finished reading the book.

「彼女はその本を読み終えた」

×) She finished to read the book.

④ 両方OKだが明らかに意味が違うもの

remember to 不定詞 「(これから) ~するのを覚えている」

remember ~ing 「(過去に) ~したのを覚えている」

forget to不定詞 「(これから) ~するのを忘れる」

forget ~ing 「(過去に) ~したのを忘れる」

stop to不定詞 「~するために立ち止まる」

stop ~ing 「~するのをやめる」

remember

- ① Please remember to turn off the light. 「電気を消すのを忘れないでね」
- ② I don't remember meeting him. 「彼に会ったことを覚えていません」

forget

- ① Don't forget to turn off the light. 「電気を消すのを忘れないで」
- ② I'll never forget visiting Rome. 「私はローマを訪れたことを決して忘れないだろう」

stop

- ① I stopped smoking. 「私はタバコを吸うのをやめた」
- ② I stopped to smoke. 「私はタバコを吸うために立ち止まった」

※ stop to ~ は「~するために立ち止まる」。

stop は「立ち止まる」、to は「不定詞の副詞的用法(~するために)」であり、
stop の直後にくる「不定詞の名詞的用法」ではない！